

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	0	0	百日咳	0	0
RSウイルス感染症	1	5	ヘルパンギーナ	88	137
咽頭結膜熱	14	10	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	85	75
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	36	23	急性出血性結膜炎	0	0
感染性胃腸炎	182	147	流行性角結膜炎 (はやり目)	15	13
水痘	31	43	細菌性髄膜炎	0	0
手足口病	277	345	無菌性髄膜炎	1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	3	9	マイコプラズマ肺炎	4	1
突発性発しん	58	56	クラミジア肺炎	0	0

報告が多い
感染症

- 手足口病
- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ

- 手足口病は、報告数 277件(前週報告数 345件)と減少。
地区別では、天草、菊池、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の77件を最多に、主に10～14歳以下からの報告である。
- 感染性胃腸炎は、報告数 182件(前週報告数 147件)と増加。
地区別では、八代、有明、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、7ヶ月～12ヶ月齢の34件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- ヘルパンギーナは、報告数 88件(前週報告数 137件)と減少。
地区別では、天草、菊池、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の24件を最多に、10～14歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ 球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所		1	5	17	35	11	108	1	24		16	45		6		1	4	
山鹿保健所					7	3	12	1	1		2	2	*	*				
菊池保健所			2	5	15	5	28	1	5		18	1		6				
阿蘇保健所					5		1				1		*	*				
御船保健所					2		1						*	*				
八代保健所			1	1	33		17		11			1						
水俣保健所					1	1	7		3		1	3	*	*				
人吉保健所				5	20	1	21		3		9	4	*	*				
有明保健所			2	2	35	6	14		3		11	17		1				
宇城保健所			1		17	2	19		5		2	11						
天草保健所			3	6	12	2	49		3		28	1		2				
計	0	1	14	36	182	31	277	3	58	0	88	85	0	15	0	1	4	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳以上	
インフルエンザ	0																					
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20歳以上							
RSウイルス感染症	1		1																			
咽頭結膜熱	14			7	1	2	1	3														
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36			2	5	4	6	6	5	2	2	1	2		1							
感染性胃腸炎	182	6	34	26	14	15	14	14	4	6	7	11	17	4	10							
水痘	31	1	5	6	3	3	4	2	3	1	1	1	1									
手足口病	277	2	25	77	74	35	22	17	12	4	1	1	4		3							
伝染性紅斑	3						2					1										
突発性発しん	58	2	26	25	4	1																
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	88		10	24	21	17	6	3	3			2	2									
流行性耳下腺炎	85			7	20	12	16	10	11	2	2	2	3									
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	15					1		1				1			2	4	2		3		1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	1		1																			
マイコプラズマ肺炎	4		1		1	1							1									
クラミジア肺炎	0																					

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 手足口病：熊本・山鹿・菊池・八代・水俣
人吉・有明・宇城・天草
- ヘルパンギーナ：菊池・人吉
有明・天草

ヘルパンギーナ
手足口病



手足口病の報告数は、6週連続で減少していますが、依然警報レベルにあり、例年に比べるとまだ報告数は多い状況です。保健所別では、阿蘇、御船以外の地域で警報レベルが続いています。また、人吉は2週連続で増加しています。同じく警報レベルを超えているヘルパンギーナは、5週連続で減少し、警報終息基準値を下回りました。しかし、保健所別では、有明、菊池、人吉、天草は引き続き警報レベルにありますのでご注意ください。

手足口病、ヘルパンギーナともに、幼児を中心に流行する急性ウイルス性感染症です。手足口病は、口の中や手、足などに水疱性の発疹が見られる疾患で、ヘルパンギーナは、発熱とのどにあらわれる水疱性発疹が特徴です。患者の便や咳、くしゃみから感染しますので、予防法としては、排便処理後、食事前、調理前の手洗いやうがいなどが有効です。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課